



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月6日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社
コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行職 経理部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 03-5323-0231

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	43,216	5.4	571	54.1	1,677	8.0	759	28.9
2023年3月期第2四半期	40,988	6.0	1,245	212.1	1,552		1,068	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,760百万円 (39.9%) 2023年3月期第2四半期 6,259百万円 (200.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	12.83	
2023年3月期第2四半期	18.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	121,306	61,969	49.4
2023年3月期	114,570	58,779	49.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 59,949百万円 2023年3月期 56,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		8.50	8.50
2024年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	3.8	3,000	15.1	3,200	22.0	2,000	25.9	33.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	63,097,316 株	2023年3月期	63,077,770 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	3,866,618 株	2023年3月期	3,865,795 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	59,215,685 株	2023年3月期2Q	59,198,461 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(表示方法の変更)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、景気は緩やかに回復しているものの、物価上昇や世界経済の下振れリスクなど、先行き不透明な状況が続いております。世界経済においても、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めに伴う景気減速、中国経済の先行き懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、半導体不足やサプライチェーンの混乱による影響の緩和により、受注は緩やかに回復しました。

当社グループは、注力分野のパワートレイン・走行安全系向けの販売が牽引し、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は432億16百万円（前年同四半期比5.4%の増収）となりました。

利益面につきましては、受注が緩やかに回復し、生産工場の稼働も改善しつつあるものの、未だ低調に推移したことなどの影響により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は5億71百万円（前年同四半期比54.1%の減益）となりました。経常利益は、営業利益が減少したものの、円が対米ドル及びタイバーツで通貨安に推移したことにより、為替差益10億29百万円を計上したため、16億77百万円（前年同四半期比8.0%の増益）となり、また、生産効率化のための構造改革による事業構造再編費用2億16百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億59百万円（前年同四半期比28.9%の減益）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(日本)

国内の自動車販売台数が増加した影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は270億85百万円（前年同四半期比17.7%の増収）となりました。

利益面では、売上高は増加したものの、生産工場の稼働は改善しつつあるものの、未だ低調に推移したことなどの影響により、セグメント利益は3億17百万円（前年同四半期比0.5%の減益）となりました。

(中国)

中国における日系自動車メーカーの需要低迷の影響を受けたことなどにより、車載向けの販売が減少し、売上高は80億59百万円（前年同四半期比11.1%の減収）となりました。

利益面では、人民元が対米ドルで通貨安に推移したものの、売上高の減少などにより、セグメント利益は7億35百万円（前年同四半期比6.1%の減益）となりました。

(東南アジア)

タイの自動車販売台数が減少した影響を受けて、車載向けの販売が減少したことにより、売上高は58億1百万円（前年同四半期比16.3%の減収）となりました。

利益面では、売上高の減少などによる生産工場の稼働率低下の影響により、セグメント損失は2億3百万円（前年同四半期は8億5百万円のセグメント利益）となりました。

(欧米)

欧州、米国共に、自動車販売台数が増加した影響を受けて、車載向けの販売が増加し、売上高は22億70百万円（前年同四半期比14.8%の増収）となり、セグメント利益は1億66百万円（前年同四半期比91.5%の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.1%増加し、648億21百万円となりました。これは、主に保険積立金の解約による収入や借入等により現金及び預金が18億9百万円、また、主に生産高の増加により商品及び製品が5億55百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し、564億38百万円となりました。これは、主にタイの生産工場への設備投資により有形固定資産が41億92百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、1,213億6百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18.9%減少し、218億35百万円となりました。これは、主に運転資金及び設備投資資金としての1年内返済予定の長期借入金が返済により72億円減少し、生産高の増加により支払手形及び買掛金が14億41百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて30.0%増加し、375億2百万円となりました。これは、主にタイの生産工場への設備投資による借入により長期借入金が84億36百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.4%増加し、593億37百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて31億90百万円増加し、619億69百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定が24億44百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて18億9百万円増加し、254億6百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、43億38百万円(前年同四半期は9億59百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益13億2百万円、減価償却費25億25百万円などによる資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、42億41百万円(前年同四半期は25億98百万円の減少)となりました。これは、主にタイの生産工場への設備投資による有形固定資産の取得による支出53億50百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、3億5百万円(前年同四半期は81億96百万円の増加)となりました。これは、主にタイの生産工場への設備投資のための長期借入れによる収入100億円による資金の増加、運転資金及び設備投資資金としての長期借入金の返済による支出87億63百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、2023年11月6日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,596	25,406
受取手形及び売掛金	17,664	17,784
電子記録債権	1,531	1,991
商品及び製品	9,691	10,247
仕掛品	4,415	4,393
原材料及び貯蔵品	3,242	3,293
その他	1,552	1,747
貸倒引当金	△41	△43
流動資産合計	61,652	64,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,786	12,983
機械装置及び運搬具（純額）	19,428	19,982
土地	7,801	7,827
建設仮勘定	4,324	7,475
その他（純額）	1,498	1,763
有形固定資産合計	45,839	50,032
無形固定資産		
のれん	40	31
その他	329	314
無形固定資産合計	370	345
投資その他の資産		
投資有価証券	3,126	3,473
退職給付に係る資産	827	839
その他	2,720	1,770
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	6,651	6,059
固定資産合計	52,860	56,438
繰延資産		
社債発行費	56	47
繰延資産合計	56	47
資産合計	114,570	121,306

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,265	11,706
電子記録債務	2,049	1,734
1年内償還予定の社債	342	42
1年内返済予定の長期借入金	10,327	3,127
未払法人税等	240	509
賞与引当金	552	921
資産除去債務	2	—
その他	3,155	3,791
流動負債合計	26,936	21,835
固定負債		
社債	5,765	5,744
長期借入金	21,472	29,908
退職給付に係る負債	153	178
資産除去債務	404	406
その他	1,057	1,265
固定負債合計	28,853	37,502
負債合計	55,790	59,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,310	22,315
資本剰余金	16,966	16,971
利益剰余金	14,171	14,427
自己株式	△3,136	△3,136
株主資本合計	50,311	50,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,198	1,598
為替換算調整勘定	5,455	7,899
退職給付に係る調整累計額	△118	△125
その他の包括利益累計額合計	6,535	9,372
非支配株主持分	1,931	2,019
純資産合計	58,779	61,969
負債純資産合計	114,570	121,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	40,988	43,216
売上原価	34,762	37,541
売上総利益	6,226	5,675
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,947	1,939
賞与引当金繰入額	△44	114
退職給付費用	12	23
貸倒引当金繰入額	△0	1
その他	3,064	3,026
販売費及び一般管理費合計	4,980	5,104
営業利益	1,245	571
営業外収益		
受取利息	5	70
受取配当金	70	66
為替差益	394	1,029
その他	135	385
営業外収益合計	606	1,552
営業外費用		
支払利息	125	157
支払手数料	117	201
その他	55	86
営業外費用合計	298	446
経常利益	1,552	1,677
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	94	118
投資有価証券評価損	—	47
事業構造再編費用	—	※ 216
特別損失合計	94	382
税金等調整前四半期純利益	1,458	1,302
法人税等	305	476
四半期純利益	1,152	825
非支配株主に帰属する四半期純利益	83	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,068	759

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,152	825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	399
為替換算調整勘定	5,074	2,542
退職給付に係る調整額	△28	△6
その他の包括利益合計	5,106	2,934
四半期包括利益	6,259	3,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,941	3,596
非支配株主に係る四半期包括利益	317	164

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,458	1,302
減価償却費	2,325	2,525
受取利息及び受取配当金	△75	△137
支払利息	125	157
為替差損益 (△は益)	△175	△1,057
固定資産売却損益 (△は益)	0	△0
固定資産除却損	94	118
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	47
売上債権の増減額 (△は増加)	2,432	223
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,061	67
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,595	401
未払金の増減額 (△は減少)	△40	441
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△182	359
その他	78	95
小計	1,383	4,544
利息及び配当金の受取額	77	143
利息の支払額	△135	△160
法人税等の支払額	△365	△188
営業活動によるキャッシュ・フロー	959	4,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,516	△5,350
有形固定資産の売却による収入	0	90
無形固定資産の取得による支出	△12	△4
投資有価証券の取得による支出	△5	△1
投資有価証券の売却による収入	—	187
保険積立金の積立による支出	—	△287
保険積立金の解約による収入	—	1,183
その他	△64	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,598	△4,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	15,990	—
短期借入金の返済による支出	△16,212	—
長期借入れによる収入	10,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△643	△8,763
社債の償還による支出	△21	△321
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△25	△29
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△827	△502
非支配株主への配当金の支払額	△62	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,196	305
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,347	1,407
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,905	1,809
現金及び現金同等物の期首残高	15,879	23,596
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,785	25,406

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「未払金の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が増したため、独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた38百万円は、「未払金の増減額(△は減少)」△40百万円、「その他」78百万円として組替えております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 事業構造再編費用

生産効率化のための構造改革実施に伴い、特別退職金187百万円及び再就職支援費用29百万円を事業構造再編費用として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	23,012	9,068	6,930	1,976	40,988	—	40,988
その他収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,012	9,068	6,930	1,976	40,988	—	40,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	545	7,671	7,480	—	15,698	△15,698	—
計	23,558	16,740	14,411	1,976	56,687	△15,698	40,988
セグメント利益	319	782	805	87	1,994	△749	1,245

(注) 1. セグメント利益の調整額△749百万円には、セグメント間取引消去△150百万円、全社費用△598百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	27,085	8,059	5,801	2,270	43,216	—	43,216
その他収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	27,085	8,059	5,801	2,270	43,216	—	43,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	738	7,554	7,743	—	16,036	△16,036	—
計	27,823	15,614	13,545	2,270	59,253	△16,036	43,216
セグメント利益又は 損失(△)	317	735	△203	166	1,016	△444	571

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△444百万円には、セグメント間取引消去145百万円、全社費用△590百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。